

高齢者を取り巻く現況

1. 人口、高齢化率の動向

【人口の推移】

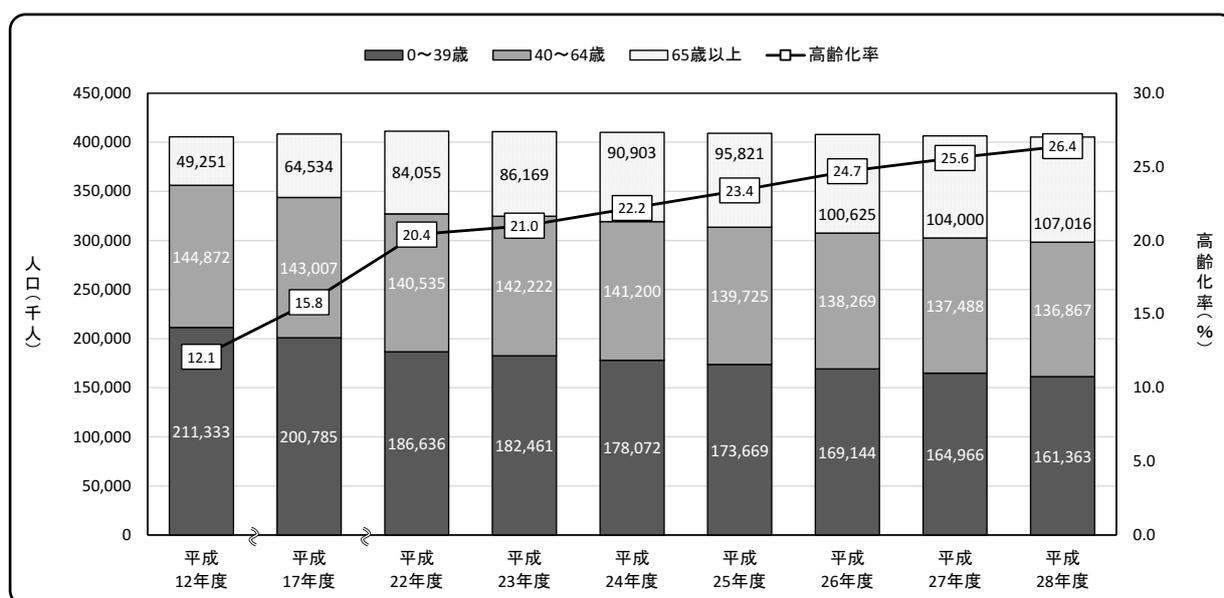
平成12年度以降、総人口は微増していたが、平成21年度をピークに減少に転じた。

また、40歳未満の人口が減少していく一方で、65歳以上の人口は毎年増加している。高齢化率も年々上昇しており、平成27年度以降、高齢化率が25%を上回っている。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
総人口	405,456	406,279	407,195	408,099	408,751	408,326	409,024	410,046	410,522
0～39歳	211,333	209,863	208,157	206,555	204,417	200,785	199,161	196,717	193,551
40～64歳	144,872	144,123	143,537	143,157	143,177	143,007	140,970	140,078	139,698
65歳以上	49,251	52,293	55,501	58,387	61,157	64,534	68,893	73,251	77,273
65～74歳	31,383	33,279	35,218	36,896	38,217	40,155	42,859	45,490	47,797
75歳以上	17,868	19,014	20,283	21,491	22,940	24,379	26,034	27,761	29,476
高齢化率	12.1%	12.9%	13.6%	14.3%	15.0%	15.8%	16.8%	17.9%	18.8%

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総人口	411,635	411,226	410,852	410,175	409,215	408,038	406,454	405,246
0～39歳	190,675	186,636	182,461	178,072	173,669	169,144	164,966	161,363
40～64歳	139,638	140,535	142,222	141,200	139,725	138,269	137,488	136,867
65歳以上	81,322	84,055	86,169	90,903	95,821	100,625	104,000	107,016
65～74歳	50,065	50,967	50,963	53,499	56,426	59,375	60,381	60,146
75歳以上	31,257	33,088	35,206	37,404	39,395	41,250	43,619	46,870
高齢化率	19.8%	20.4%	21.0%	22.2%	23.4%	24.7%	25.6%	26.4%

出典：住民基本台帳人口と外国人登録の合計（各年10月1日現在）



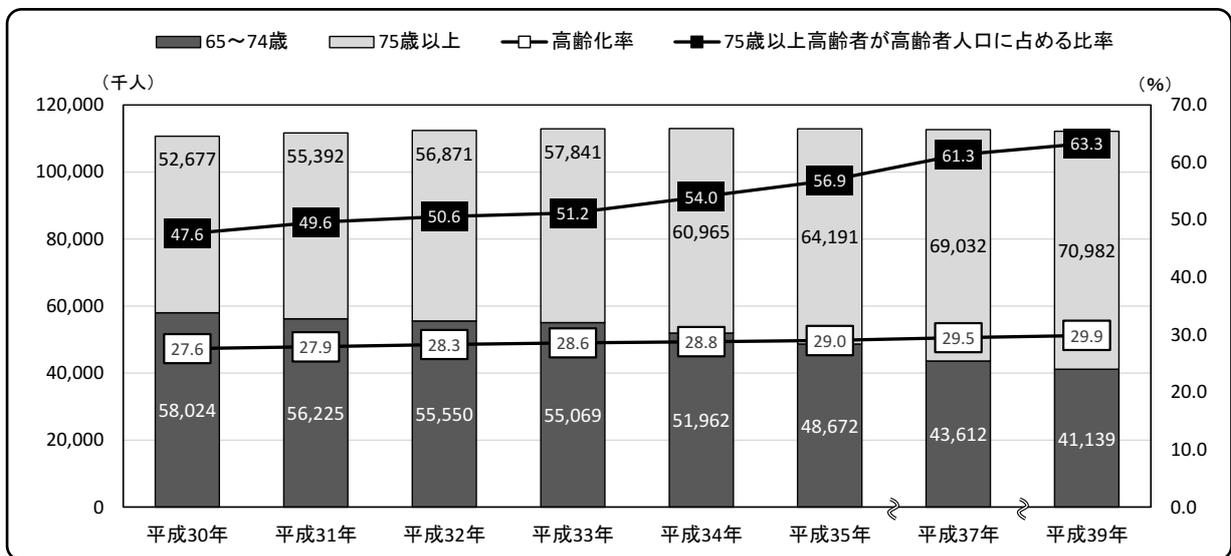
【高齢者人口の将来推計】

高齢者人口は、増加傾向が続くもののその伸びは徐々に鈍化し、11万1千～3千人程度で推移するものと推測される。

また、75歳以上高齢者人口が高齢者人口に占める比率は年々増加し、平成32年度には50%を超え、「団塊の世代」が全て75歳以上となる平成37年度には、60%を超える見込みである。

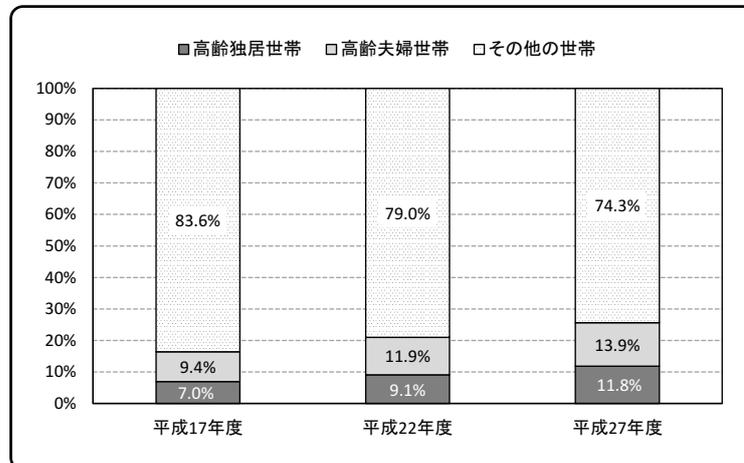
	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成37年	平成39年
高齢者人口	110,701	111,617	112,421	112,910	112,927	112,863	112,644	112,121
65～74歳	58,024	56,225	55,550	55,069	51,962	48,672	43,612	41,139
75歳以上	52,677	55,392	56,871	57,841	60,965	64,191	69,032	70,982
高齢化率	27.6%	27.9%	28.3%	28.6%	28.8%	29.0%	29.5%	29.9%
75歳以上高齢者が高齢者人口に占める比率	47.6%	49.6%	50.6%	51.2%	54.0%	56.9%	61.3%	63.3%

※ 推計方法は、コーホート変化率法による各年10月1日現在の推計値



【高齢者のいる世帯の状況】

高齢者が暮らしている世帯は増加傾向にあり、平成27年度では高齢独居世帯が11.8%、高齢夫婦世帯が13.9%となっている。



2. 高齢者の健康づくり等に関する実態調査

調査対象	要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の市内在住者1,300名 ※本市の日常生活圏域13圏域ごとに100名ずつ無作為抽出・無記名調査
調査方法	郵便による配布・回収
調査期間	平成29年7月～8月
回収結果	有効回答数：803件（有効回答率61.8%）
回答者の主な属性	性別：男性44.5%、女性51.4%、不明4.1% 年齢：65～69歳31.1%、70～74歳28.4%、75～79歳23.8%、80～84歳10.5% 85～89歳3.9%、90歳以上1.4%、不明0.9%

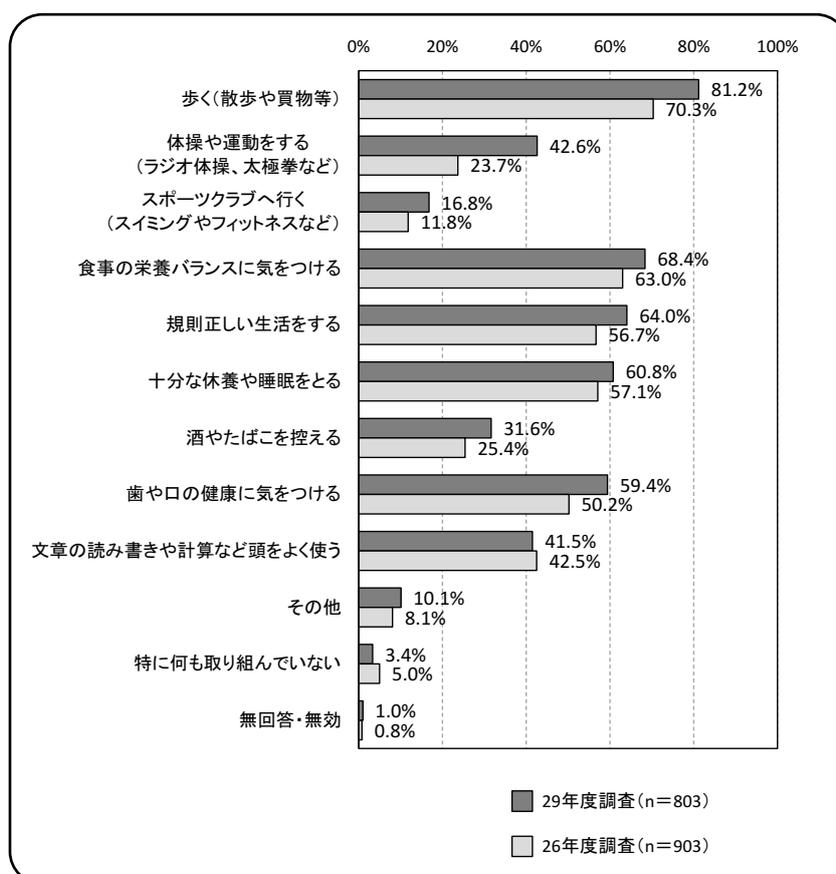
※日常生活圏域…介護保険法では、高齢者が日常生活を営んでいる地域を中心に、地理的条件、人口、交通事情、介護保険サービスを提供するための施設の整備状況、自治会や町内会等既存コミュニティなどの条件を総合的に勘案した、地域包括ケアシステムを構築する区域（日常生活圏域）を定めることとしている。

1) 健康保持のための取り組み

① 取り組み状況

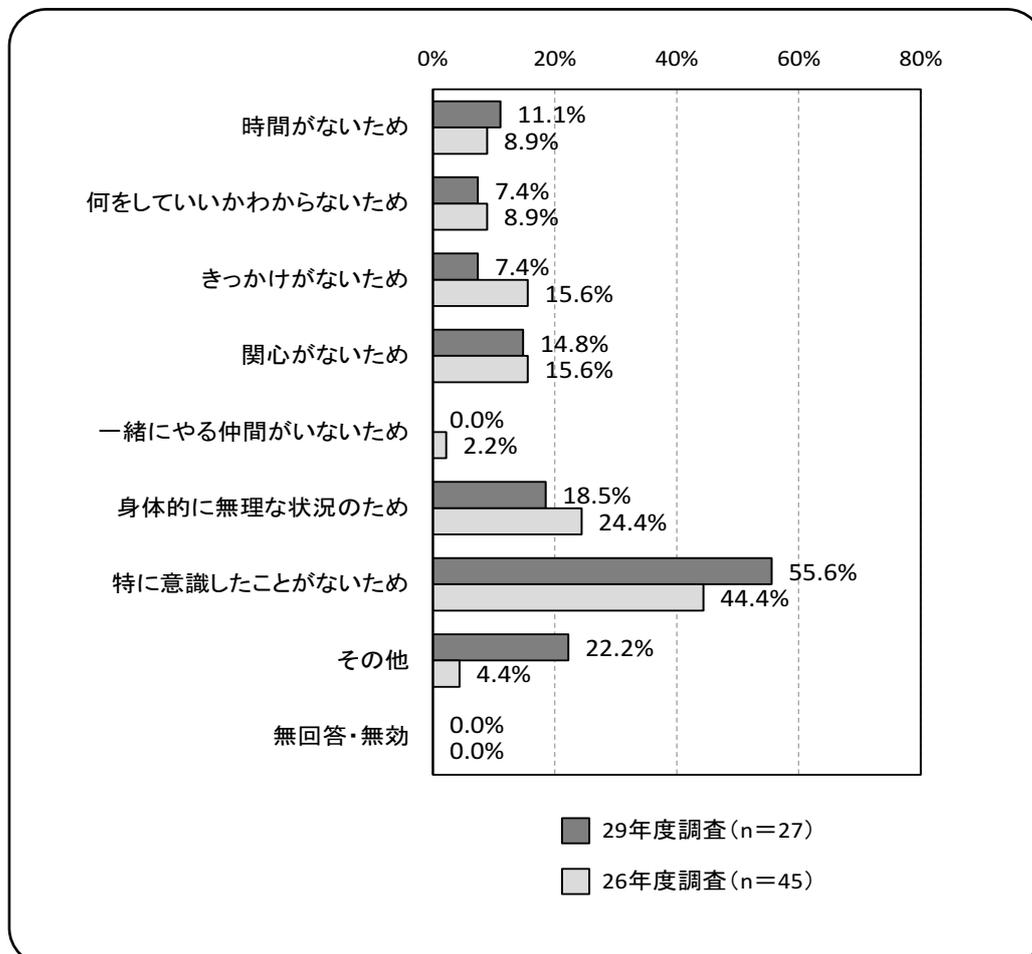
過半数の回答者が「歩く（散歩や買い物等）」、「食事の栄養バランスに気をつける」、「規則正しい生活をする」、「十分な休養や睡眠をとる」、「歯や口の健康に気をつける」など、健康保持のための取り組みを行っている。

また、26年度調査と比較すると、ほぼすべての取り組み項目で高くなっている。



② 取り組んでいない理由

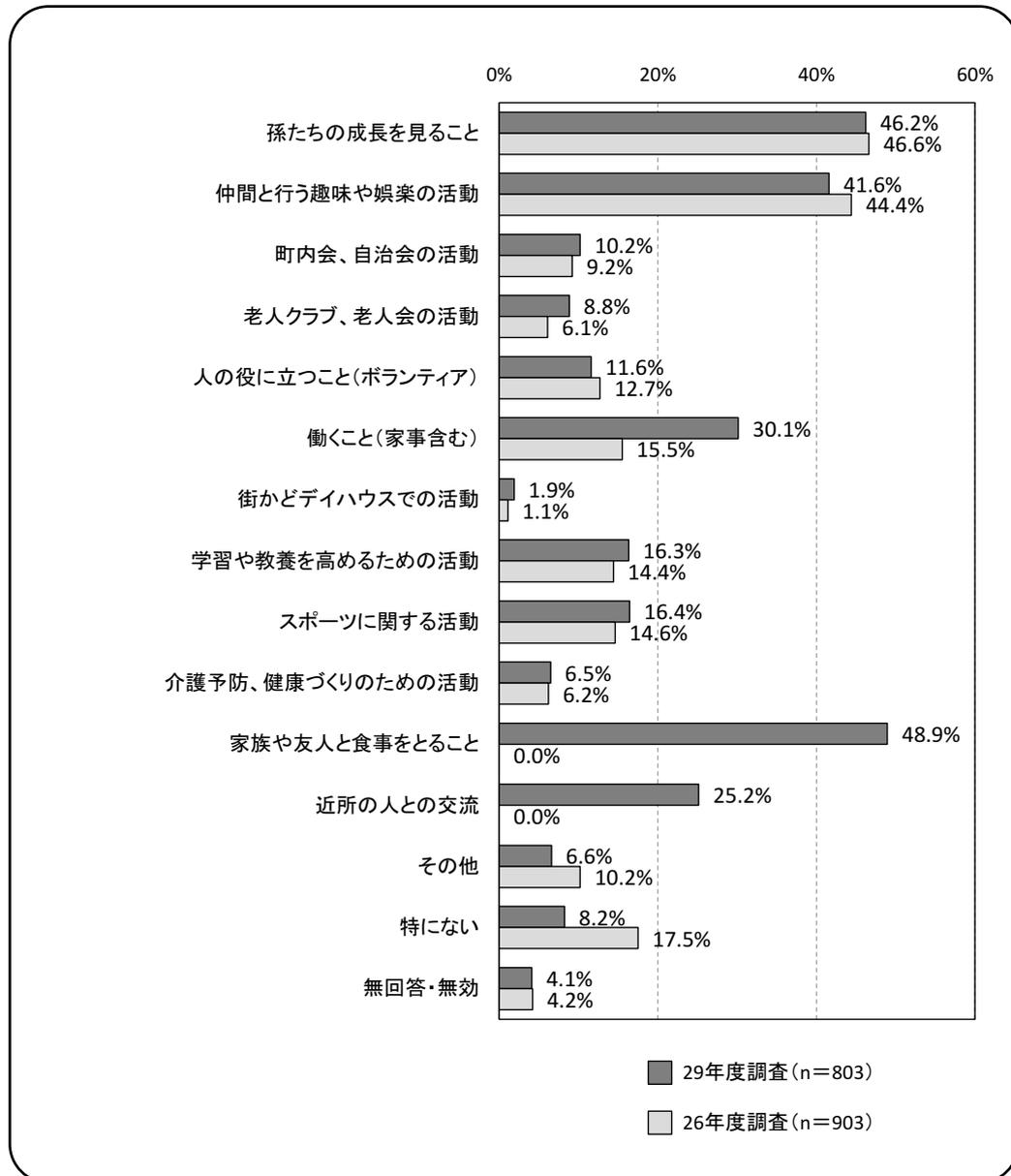
健康づくりに取り組んでいない理由として最も多かったのは、「特に意識したことがないため」の55.6%で、次いで多いのが「身体的に無理な状況のため」の18.5%であった。



2) 仕事や生きがい

① 生きがいや楽しみ

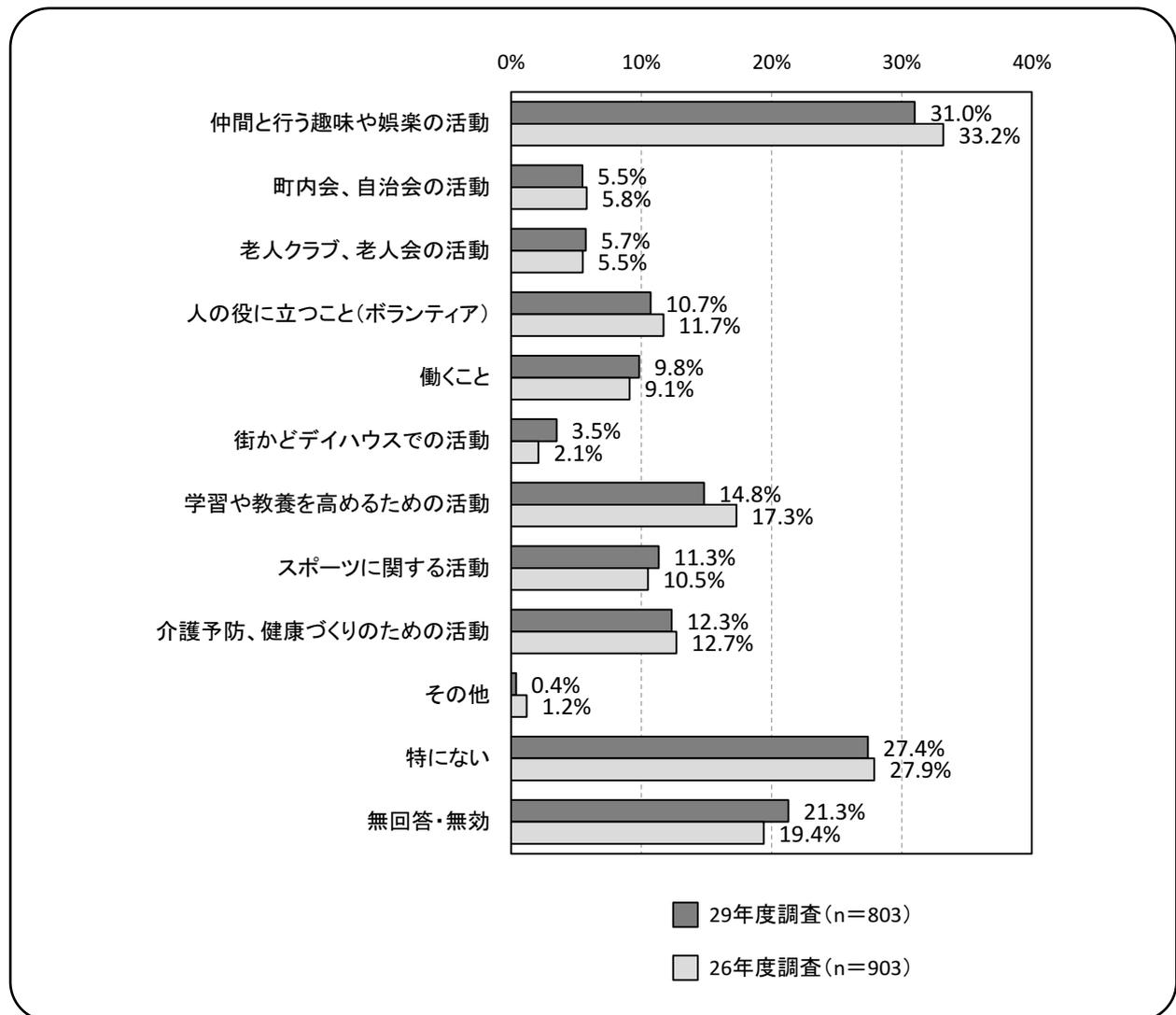
全体の4割以上の高齢者が「孫たちの成長を見ること」、「仲間と行う趣味や娯楽の活動」、「家族や友人と食事をとること」を生きがいや楽しみと考えている状況にある。



※街かどデイハウス…高齢者の介護予防や社会参加を目的とした、レクリエーションや健康チェック、食事などを提供する日帰りの施設。

② 今後やってみたい活動

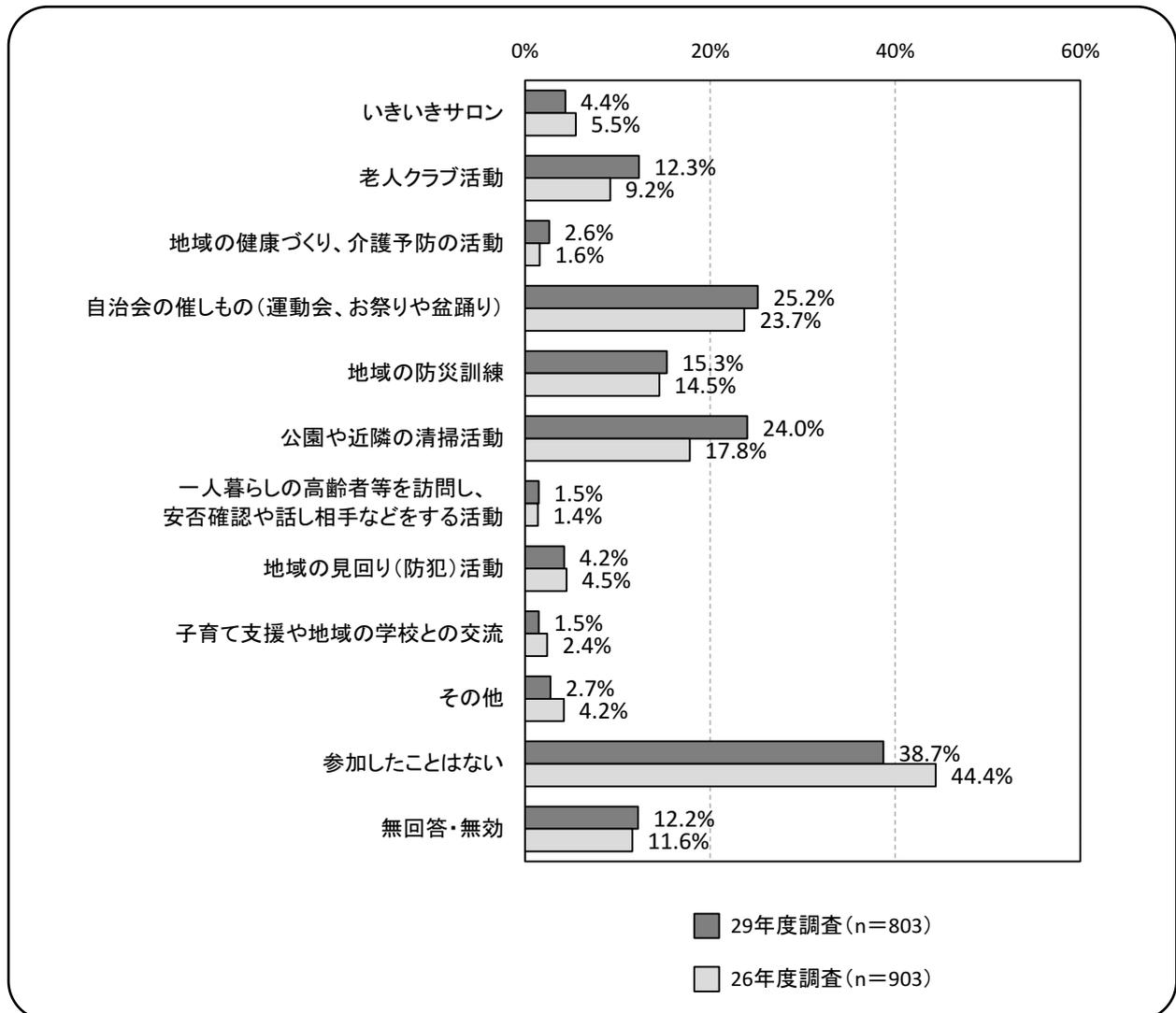
3割以上の高齢者が「仲間と行う趣味や娯楽の活動」をやってみたいと回答した。一方、「特にない」と回答した高齢者も約3割を占めた。



③ 地域活動への参加状況

約5割の高齢者が何らかの地域活動に参加している状況にある。

参加している地域活動で最も多いのが「自治会の催しもの（運動会、お祭りや盆踊り）」で、次いで多いのが「公園や近隣の清掃活動」であった。



※いきいきサロン…身近な場所で、参加者と地域住民・ボランティアが共に企画・運営する。